

# 今治海事都市発展ビジョン（案）

## 概要資料

# 今回策定する「今治海事都市発展ビジョン」は、2005年に策定された「今治海事都市構想」に続くビジョンとなります

## ビジョン策定背景

### 旧ビジョン「今治海事都市構想」

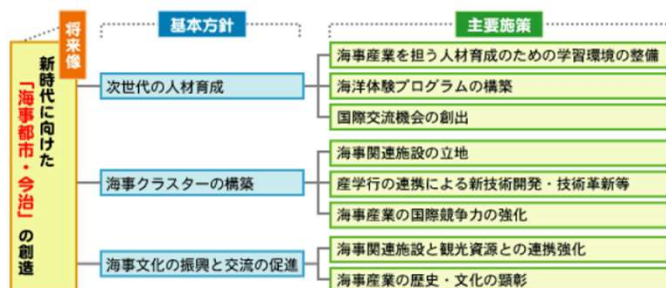
#### < 策定の背景 >

- 2005年（平成17年）年1月の市町村合併により、海運、造船、船用工業などの海事産業と、それを支える金融、教育、検査機関などが集積した「海事都市・今治」が誕生

#### < 概要 >

- 海事産業の歴史文化や地域貢献への認知度向上も目指し、新時代に向けた海事都市今治の創造のため、3つの基本方針（①次世代の人材育成、②海事クラスターの構築、③海事文化の振興と交流の促進）を軸とした『今治海事都市構想』を策定

【将来像・基本方針・主要施策】



改定の必要性

- 策定から約20年経過
- 海事産業や今治市を取り巻く環境も大きく変化

### 新ビジョン「今治海事都市発展ビジョン」

#### < 策定の方向性 >

- 当市の主幹産業である海事産業の更なる発展と、世界に冠たる「海事都市今治」のまちづくりを目指し、この先20年を見据えた海事都市のあり方を取りまとめた『今治海事都市発展ビジョン（仮称）』を策定する
- 策定に当たっては、外部環境・内部環境について、過去20年の変化を踏まえる

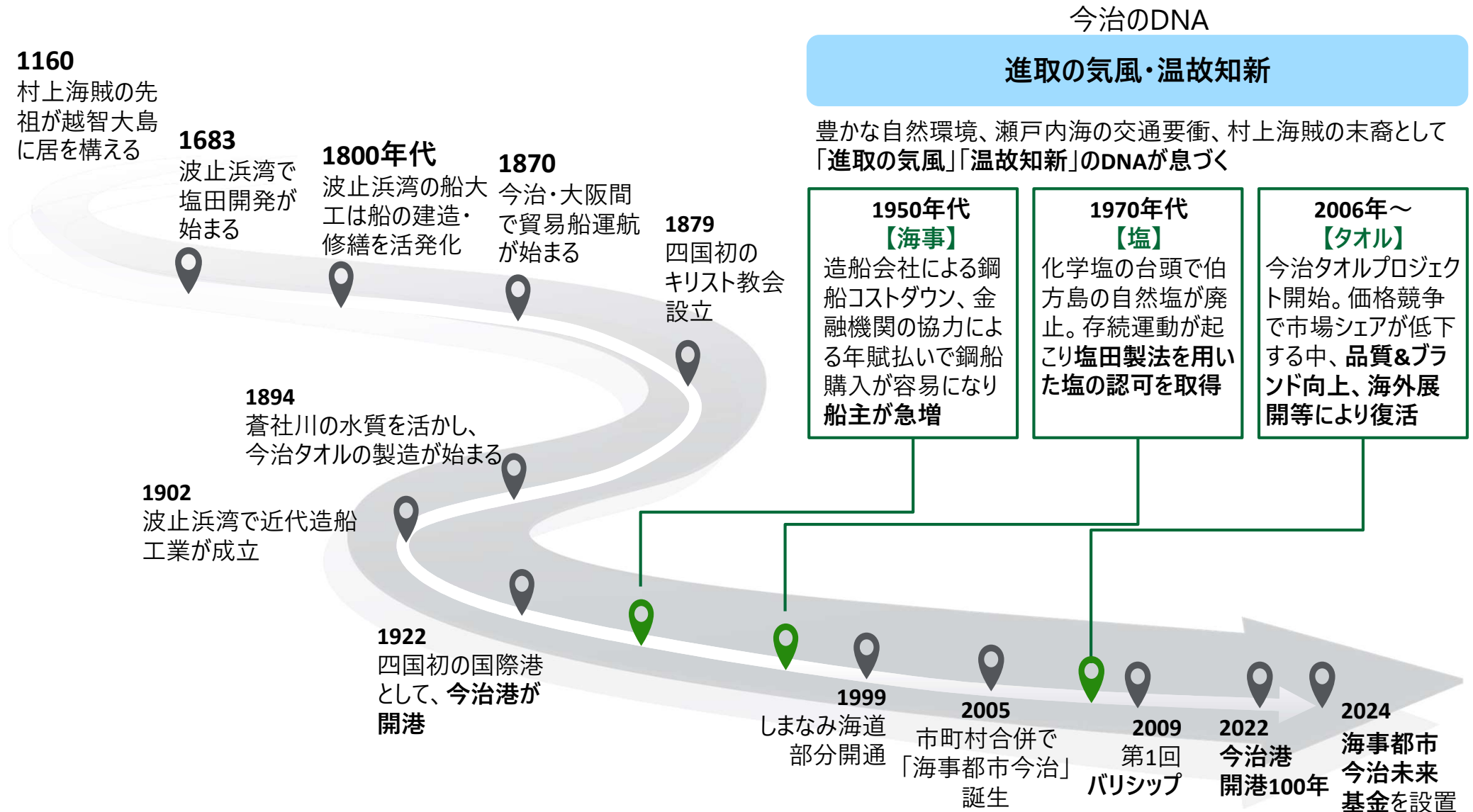
#### < ビジョンの構成要素 >

- ビジョンの構成要素は以下の5項目を想定

  1. 海事産業を取り巻く現状（外部環境）
  2. 今治地域の特徴・活用する強み（内部環境）
  3. 目指す将来像・基本方針
  4. 実現に向けた取組（主要取組施策）
  5. ロードマップ・推進体制

# 今治の歴史には「進取の気風」「温故知新」のDNAが存在。他地域では衰退した産業を新たに温めることで現在の代表的産業（海事/塩/タオル）を確立してきました

## 今治発展の歴史とDNA



# 今治発展の歴史も踏まえ、産業・個人・社会の観点から、旧ビジョン策定当時の状況を起点として、今後20年間に想定される変化も織り込み、未来のありたい姿を導出しました

## 今治市の過去・現在・未来の姿

今治市のポジション

	産業（しごと）	個人（ひと）	社会（まち）
（20年前） 過去	国内1海事都市（市町村合併で「海事都市・今治」が誕生）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存船建造・保有・運航の国内主要拠点</li> <li>市町村合併に伴い、海事バリューチェーンが網羅された</li> <li>船主・海運・造船・船用を中心とした安定産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海事産業の魅力が不十分/伝わらず、働き手が来にくい</li> <li>技能者育成の組織や仕組みが誕生</li> <li>海外人財は少数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民における海の魅力認知は希薄</li> <li>市町村合併に伴い、海事都市今治が誕生</li> </ul>
（強み・弱み） 現在	国内トップ海事都市（国内建造船2割を市内造船所が建造。国際的認知度も獲得）		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存船建造・保有・運航の国内トップ拠点</li> <li>海事バリューチェーンが確立されている点が強みであり、協調の機運も高まり</li> <li>船主・海運・造船・船用を中心とした安定産業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海事産業の魅力が不十分/伝わらず、働き手が来にくい</li> <li>男性/若手対象の技能者育成が中心</li> <li>海外人財を海事産業における一時的な労働力として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民における海の魅力認知、海事都市としての誇りは希薄</li> <li>国内トップクラスの海事都市として認知</li> </ul>
（ありたい姿） 未来	しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”		
	<b>国際的で多様性に富む海事産業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>建造・所有・運航が相互連携・深化したグローバル海事拠点</li> <li>次世代技術対応のためのバリューチェーン上の協調領域を拡大</li> <li>新プレイヤーが参加し、活力に溢れ、稼げる産業への転換</li> </ul>	<b>多彩な人財が集い・育ち・働く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>海事産業の魅力が向上/伝わり、働き手が増加</li> <li>次世代船に対応できる高度技術者・技能者の育成&amp;獲得</li> <li>海外人財を、コミュニティの一員として受け入れ</li> </ul>	<b>多文化が共生する魅力ある地域</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>海/海事都市の魅力向上で、市民が誇りを感じ、まち全体で魅力発信</li> <li>国際海事都市としてのプレゼンスを発揮</li> </ul>

# 将来像として「しごと・ひと・まちが躍動する国際海事都市“IMABARI”」を掲げ、実現のためにしごと・ひと・まちという3つの基本方針とし、8つの取組の方向性を示します

## ビジョン案の全体像

### 取組の方向性

- ・ 主な施策案

